



令和8年度 保護者アンケート

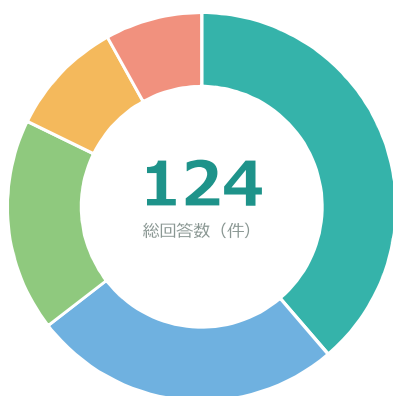
南知多町 保育所アンケート 地区別 傾向分析

5地区グループ・総回答 124件 / 本土と離島の意向の違いに着目

南知多町役場 健康こども課

OVERVIEW

調査の概要 — 回答状況 対象 194世帯 回答 124世帯 回答率63.9%



■ 内海・山海 ■ 豊浜・豊丘 ■ 大井・片名・師崎 ■ 篠島 ■ 日間賀島

地区グループ別の回答内訳	回答 / 対象	回答率
● 内海・山海	48件 / 75件	64%
● 豊浜・豊丘	32件 / 36件	89%
● 大井・片名・師崎	22件 / 34件	65%
● 篠島	12件 / 26件	46%
● 日間賀島	10件 / 23件	43%

※ 本土3グループで全体の約8割。離島（篠島・日間賀島）は母数が小さく、比率は参考値として扱う。

RESPONDENTS

回答者の属性と利用状況



家族構成

「夫婦と子どものみ」世帯が中心。親族同居は1〜2割。全地区で核家族が多数を占める。



入所先

居住地区内の保育所に通うのが基本。未入所（これから入所）世帯も一定数（内海地区で約27%）。



送迎手段

本土は自動車送迎が9割超。離島は徒歩・自転車の比率が高く、生活圏の違いが表れる。



送迎する人

送り・迎えとも母親が中心（8割前後）。父・祖父母等の分担も一定みられる。

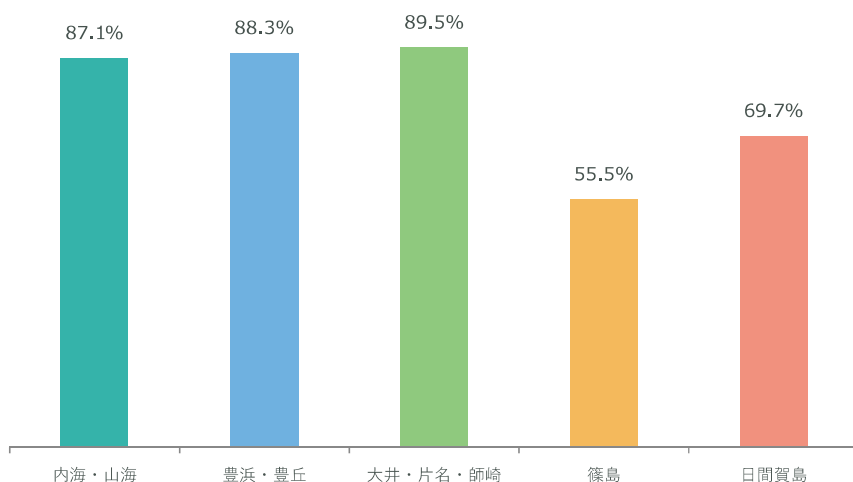
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

3

SATISFACTION

入所保育所への満足度（問7）－ 地区間比較

「満足」＋「やや満足」を合わせた肯定率（11項目平均）



本土は高い満足度

3グループとも肯定率87〜90%。情報提供・苦情対応で「どちらともいえない」がやや多い項目もあるが、総じて高評価。

⚠ 離島は相対的に低め

篠島55.5%・日間賀島69.7%。母数は小さいが、情報提供や行事・サービス面の評価が分かれる傾向。個別の声を要確認。

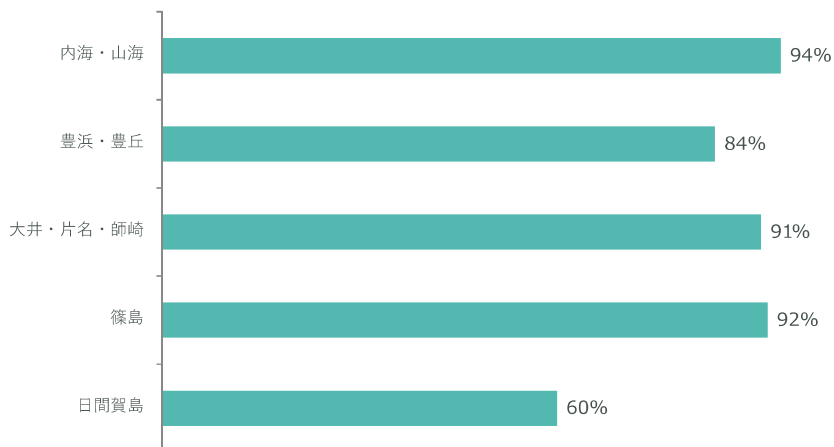
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

4

PRIORITIES

保育所選びで重視すること（問5・問6）

🏠 「自宅に近い」を重視する割合



共通する最重要点

ほぼ全地区で「自宅に近い」が最多（6～9割）。次いで「保育所の雰囲気」「小学校区」「信頼できる保育士」。立地が園選びの決定要因。

送迎手段の地区差

本土は自動車が9割超。離島は徒歩・自転車を中心で、通園距離が延びることへの感度が高い。

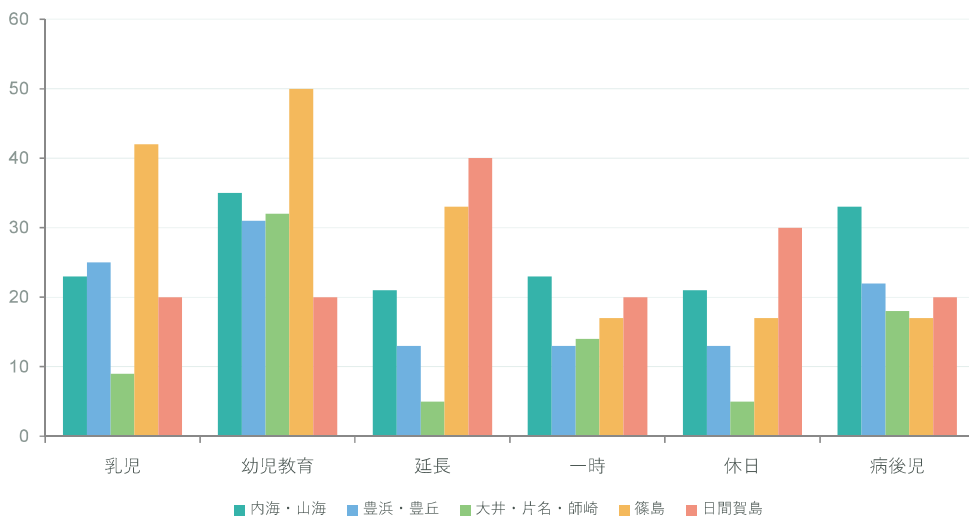
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

5

DEMAND

拡充を望む保育サービス（問10）

（％：各地区の回答者数に対する比率）



地区で異なるニーズ

本土

幼児教育・病後児保育への要望が中心。

離島

篠島は乳児・幼児教育・延長が高水準。日間賀島は延長・休日保育の要望が目立つ。

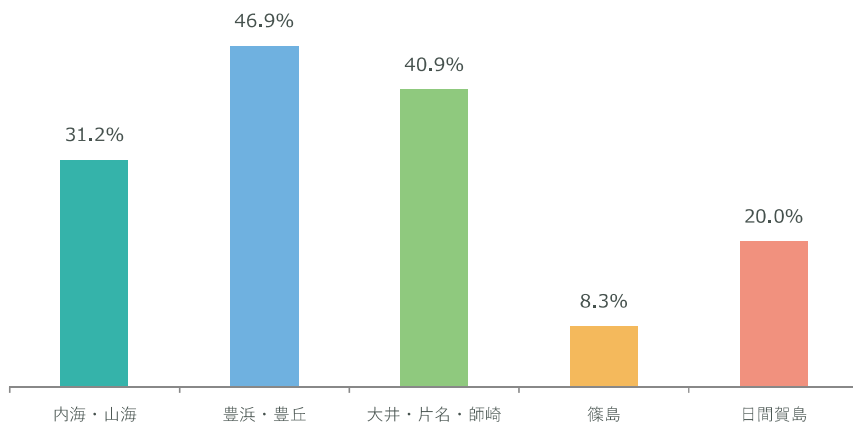
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

6

CONSOLIDATION

統廃合・転園への賛否（問 1 2）

「転園・合併を希望する」と答えた割合（はい ÷ 回答者数）



本土は受容的

豊浜・豊丘は希望が46.9%と5地区で最も高く、「いいえ」(40.6%)を上回る。大井・片名・師崎も4割。本土では統合・再編に前向きな声が一定数を占める。

離島は現状維持

篠島8.3%・日間賀島20.0%と低い。地理的に島内通園が前提で、転園・合併への抵抗感が強い。

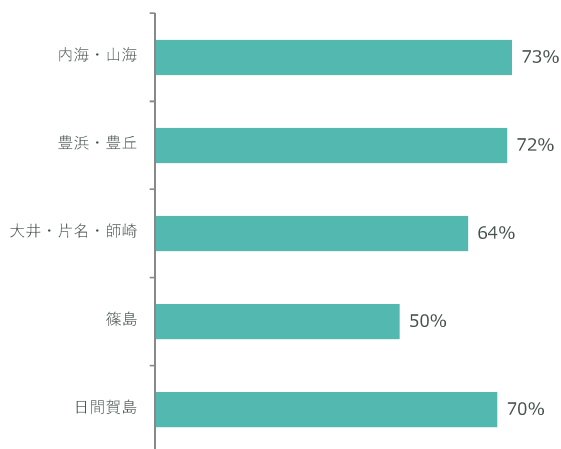
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

7

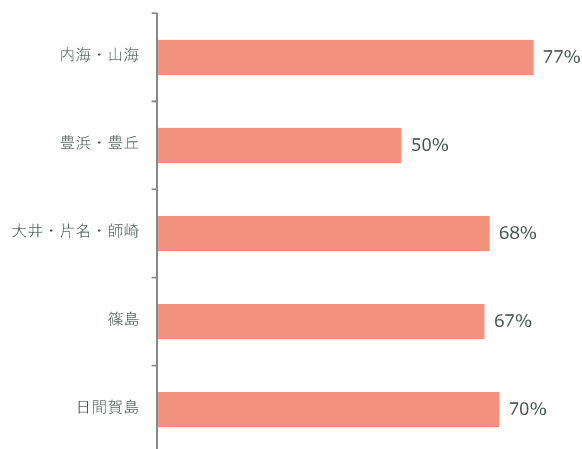
PERCEPTION

統廃合のメリット・デメリット認識（問 1 4 ・ 1 5）

期待：子ども同士の関わりで成長が期待できる



不安：通園が遠くなり勤務開始に間に合わない



統廃合のメリットでは「子どもの成長」が全地区で最多（5～7割）。一方、最大の不安は全地区共通で「通園距離・通勤時間」。再編を検討する際は送迎負担の軽減策（通園支援・時間配慮）が鍵となる。

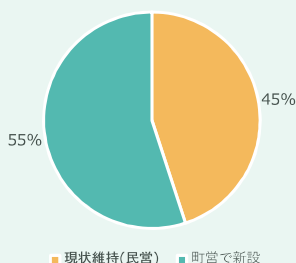
南知多町保育所 保護者アンケート（令和8年度）

8

ISLANDS

離島の今後の意向（問16・問17）

篠島地区（12件）

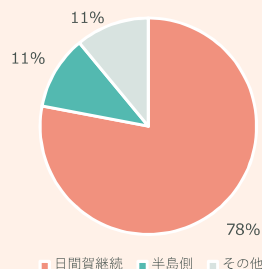


問16 運営形態
現状維持と町営新設で意見が二分。

問17 0・1歳児保育：

「希望しない」 67% / 保育料などの条件付25% / 希望8%。現時点の需要は限定的。

日間賀島地区（10件）



問16 今後の意向
「人数に関係なく日間賀保育所に通わせたい」が最多。島内通園への強い志向。

問17 0・1歳児保育：

「希望しない」 50% / 希望・保育料などの条件付が各20%。一定の潜在需要あり。

MAINLAND

本土の今後の意向（問16）

「内海保育所・大井保育所に引き続き通わせたい」割合



内海・山海

93%

が継続通園を希望



大井・片名・師崎

86%

が継続通園を希望



現所属園への高い愛着

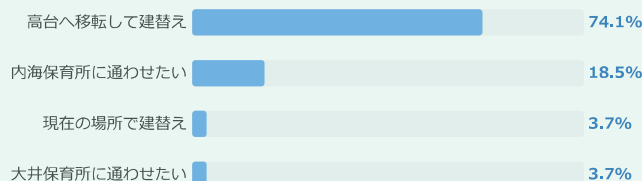
本土の保護者は、現在の内海・大井保育所への継続通園を強く希望（約9割）。かるも保育所の老朽化対応では意見が分かれており、移転・建替えの方針提示が課題。再編議論は満足度の高さを土台にしつつ、通園利便性の確保が前提条件となる。

※ かるも保育所（豊浜・豊丘地区）の今後の意向は次ページで詳述。

豊浜・豊丘地区の今後 ― かるも保育所（問 1 6）

老朽化するかるも保育所の今後の対応について、希望を集計（回答 n=27）

希望する対応（多い順）



※ 選択肢は問 1 6 【かるも】。高台＝学校建設予定地である町総合体育館周辺を想定。



約4分の3が高台移転・建替えを支持

74.1%



背景と読み取り

かるも保育所は老朽化が課題。高台（町総合体育館周辺）への移転・建替えを望む声が約4分の3を占め、方向性は比較的明確。一方で内海保育所への通園希望も約2割あり、統合的な選択肢を求める声も一定数みられる。豊浜・豊丘は合併・転園希望が本土で最も高く（46.9%）、施設更新への前向きさと整合する。

PART 2

地区別プロフィール

5地区グループそれぞれの傾向を1枚ずつ整理 ― 満足度・重視点・拡充ニーズ・統廃合への姿勢・今後の意向

内海・山海地区グループの傾向

📍 本土 n=48

😊 満足度 平均

87.1%

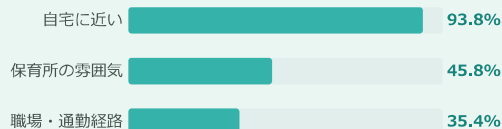
★ 重要度 平均

87.6%

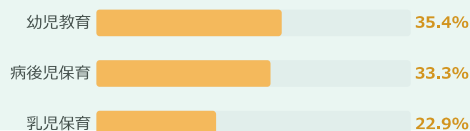
👤 未入所保護者の回答割合

27.1%

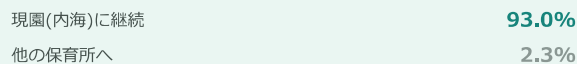
📍 保育所選びで重視する点（上位3）



💡 拡充して欲しいサービス（上位3）



👤 今後の意向（問16）



⚖️ 統廃合・小規模化への姿勢

合併・転園を希望 はい 31.2% / いいえ 66.7% / その他 2.1%

「10人以下で少ない」と感じる： 60.4%

📖 読み取り

現園継続の希望が非常に強い（93%）。満足度は高水準だが「情報提供」が相対的に低め。統廃合の検討では通園距離・時間の不安解消が最優先。

豊浜・豊丘地区グループの傾向

📍 本土 n=32

😊 満足度 平均

88.3%

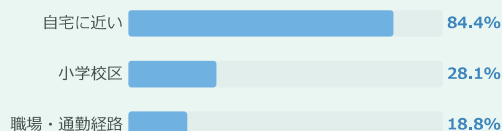
★ 重要度 平均

88.3%

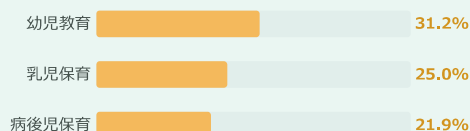
👤 未入所保護者の回答割合

15.6%

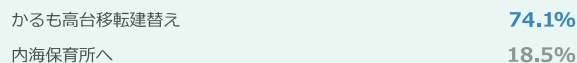
📍 保育所選びで重視する点（上位3）



💡 拡充して欲しいサービス（上位3）



👤 今後の意向（問16）



⚖️ 統廃合・小規模化への姿勢

合併・転園を希望 はい 46.9% / いいえ 40.6% / その他 12.5%

「10人以下で少ない」と感じる： 37.5%

📖 読み取り

かるも保育所の高台移転建替え支持が明確（74%）。合併・転園希望が46.9%と本土で最も高く（いいえ40.6%）、施設更新と再配置の議論に接続しやすい。施設環境への満足は相対的に低い。

大井・片名・師崎地区グループの傾向

📍 本土 n=22

😊 満足度 平均

89.5%

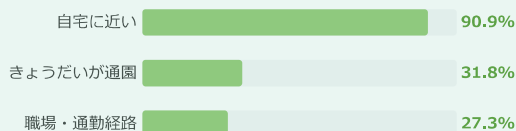
★ 重要度 平均

89.4%

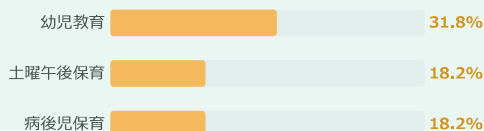
👤 未入所保護者の回答割合

13.6%

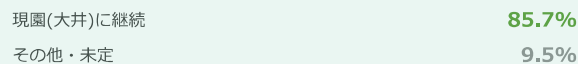
📍 保育所選びで重視する点（上位3）



💡 拡充して欲しいサービス（上位3）



👤 今後の意向（問16）



⚖️ 統廃合・小規模化への姿勢

合併・転園を希望 はい 40.9% / いいえ 59.1% / その他 0.0%

「10人以下で少ない」と感じる： 54.5%

📖 読み取り

満足度は5地区で最高（89.5%）。現園継続が主流だが合併・転園希望も約4割と、本土で最も再編の説明余地がある。

篠島地区グループの傾向

📍 離島 n=12

😊 満足度 平均

55.5%

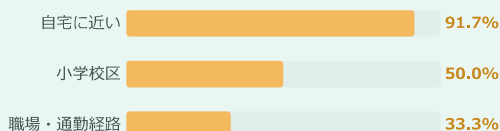
★ 重要度 平均

57.0%

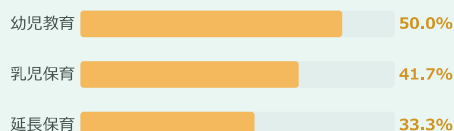
👤 未入所保護者の回答割合

25.0%

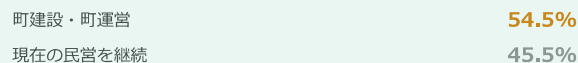
📍 保育所選びで重視する点（上位3）



💡 拡充して欲しいサービス（上位3）



👤 今後の意向（問16）



⚖️ 統廃合・小規模化への姿勢

合併・転園を希望 はい 8.3% / いいえ 91.7% / その他 0.0%

「10人以下で少ない」と感じる： 16.7%

📖 読み取り

公設公営（54.5%）と民営継続（45.5%）が拮抗。満足度は5地区で最低で、施設環境・行事・子育て支援に課題。幼児教育・乳児保育の拡充要望が強い。

日間賀島地区グループの傾向

離島 n=10

😊 満足度 平均

69.7%

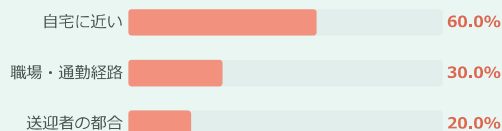
★ 重要度 平均

77.9%

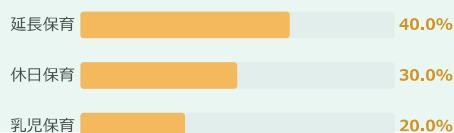
👤 未入所保護者の回答割合

50.0%

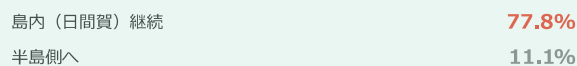
📍 保育所選びで重視する点（上位3）



💡 拡充して欲しいサービス（上位3）



👤 今後の意向（問16）



⚖️ 統廃合・小規模化への姿勢

合併・転園を希望 はい 20.0% / いいえ 50.0% / その他 30.0%



「10人以下で少ない」と感じる： 100.0%

📖 読み取り

島内継続の志向が強い（77.8%）。「10人以下で少ない」と感じる割合が100%と危機感はあるが島外通園は現実性が低い。延長・休日保育の要望、未入所も50%。

SUMMARY

分析のまとめ — 政策検討に向けて



満足度は総じて高い

本土3グループは肯定率87～90%。再編議論は高い満足を土台に進められる。離島は母数小ながら相対的に低く、個別の声の把握が必要。



統廃合は本土と離島で温度差

本土（特に豊浜・豊丘）は転園・合併に受容的。離島は現状維持志向が強い（篠島8%・日間賀島20%）。一律でなく地区特性に応じた検討を。



最大の障壁は通園距離

全地区共通で「通園が遠くなり勤務に間に合わない」が最大の不安。送迎支援・通園時間への配慮が再編の前提条件。



地区で異なる拡充ニーズ

本土は幼児教育・病後児保育、離島は延長・休日保育の要望が中心。サービス設計は地区ニーズを反映させる。